

2019年4月4日

2019年ゴールデンウィーク(4/25~5/5)の旅行動向

史上初のゴールデンウィーク10連休！ 国内旅行人数、海外旅行人数ともに過去最高

旅行意欲は昨年より増加、複数回の旅行に行く人は51.2%

← (調査対象期間) →

4月										5月					
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(祝)	(休)	(祝)	(休)	(祝)	(祝)	(祝)	(振)

JTBは、「ゴールデンウィーク（以下GW）＜4月25日～5月5日の11日間＞に1泊以上の旅行(帰省含む)に出かける人」の旅行動向の見通しをまとめました。

この調査は、2,060人（事前調査20,000人）から回答を得た旅行動向アンケート、JTBグループの販売状況、航空会社の予約状況、業界動向などから推計したもので、1969年に調査を開始して以来今年で51回目となります。調査結果は以下の通りです。

(表1) 2019年GWの旅行人数、旅行平均費用、旅行消費額

	2019年GW		2018年GW	
	推計値	対前年比	実績推計値	対前年比
総旅行人数	2,467万人	+1.2%	2,437万人	+0.8%
国内旅行人数	2,401万人	+1.1%	2,375万人	+0.6%
海外旅行人数	66.2万人	+6.9%	61.9万人	+6.5%
国内旅行平均費用	36,800円	+1.7%	36,200円	+1.7%
海外旅行平均費用	268,000円	+1.5%	264,000円	+2.7%
総旅行消費額	10,610億円	+3.7%	10,232億円	+3.4%
国内旅行消費額	8,836億円	+2.8%	8,598億円	+2.3%
海外旅行消費額	1,774億円	+8.6%	1,634億円	+9.4%

- * 旅行人数は延べ人数、平均費用は一人1回あたりの費用
- * 国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む
- * 海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ・旅行先での交通費・宿泊費・食費を含む
- * 対前年比は小数点第二位以下を四捨五入

＜社会経済環境と生活者の動き＞

1. 旅行やレジャー消費をとりまく社会や経済の環境

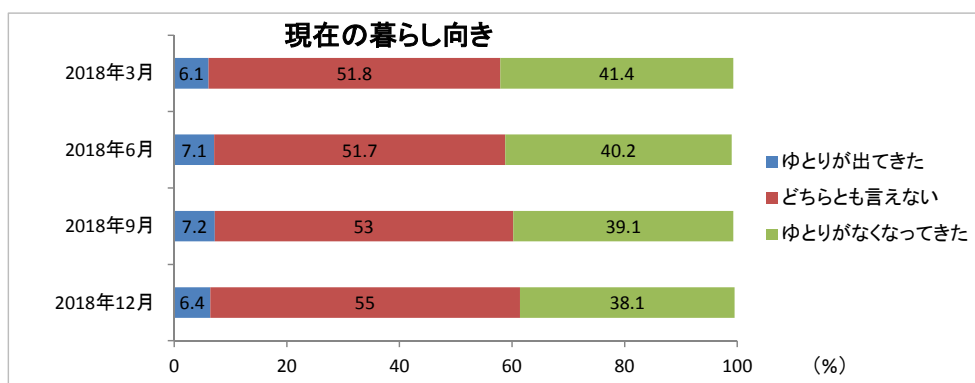
5月1日、新天皇陛下の即位に伴い、元号が「令和」に変わります。新元号に込められた「心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味合いは、人々に新しい時代の幕開けを感じさせ、自粛モードに包まれた平成の時とは違い、街なかには歓迎ムードに包まれました。今年は、新元号で迎える初めてのGWで、皇位継承に伴いカレンダー上では10連休となります。

足元の日本経済は緩やかな回復が続いています。懸念材料はあるものの、政府は3月の月例経済報を「輸出や生産の一部に弱さも見られるが、緩やかに回復している」とし、景気判断を据え置きました。雇用に関しては、2月の有効求人倍率は、1.63倍で前月と同水準で、完全失業率は前月比0.2ポイント低下の2.3%と改善していますが、上場企業の2019年3月期の決算は3期ぶりの減益が予測され先行きの不透明感はぬぐえません。

日銀が実施している「生活意識に関するアンケート調査」（1月9日発表）によれば、現在の暮らし向きについては、「ゆとりがなくなってきた」は、昨年3月から連続して減少しています（図1）日常生活では、ガソリン代は前年並みですが（図2）、4月からは、乳製品や麺類など生活に身近な商品が値上げとなります。10月には消費増税が予定されていますが、食料品などへの軽減税率の設定や、プレミアム商品券など、影響の緩和のための様々な負担軽減策が検討されています。

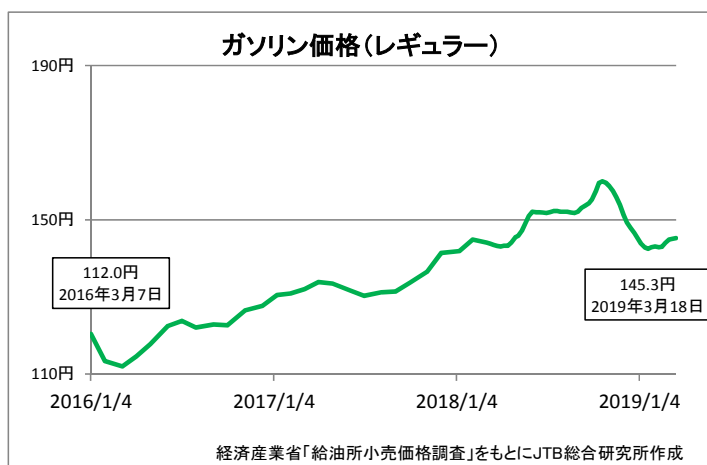
旅行については、JTBが実施した旅行動向アンケートにおける「今後1年間の旅行支出に関する意向」では、「支出を増やしたい」が16.1%、「支出を減らしたい」は34.3%、「同程度」は、49.6%です。旅行支出の意向としては、様々な要因により先行きの不透明感があり財布の紐は固そうです（表2）。

（図1）現在の暮らし向き（2018年3月～2018年12月）



出典：日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」(第76回)より抜粋しJTB総合研究所作成

（図2）ガソリン価格の推移



経済産業省「給油所小売価格調査」をもとにJTB総合研究所作成

(表 2) 今後 1 年間の旅行支出に対する意向 (単位: %) n=20,000

(単一回答)()は前年差

		2019年3月
支出をふやしたい		16.1 (+1.5)
支出は同程度		49.6 (▲3.5)
単価減らし回数増やす		8.4 (+0.3)
単価増やし回数減らす		6.4 (▲0.7)
単価も回数も同程度		34.8 (▲3.1)
支出を減らしたい		34.3 (+2.1)

2. GW はじめての 10 連休。旅行意欲は高く、複数回の旅行をする人が 51.2%

4 月						5 月									
21 日	22 日	23 日	24 日	25 日	26 日	27 日	28 日	29 日	30 日	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日
(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(祝)	(休)	(祝)	(休)	(祝)	(祝)	(祝)	(振)

今年の GW は、暦上では 4 月 27 日 (土) ~ 5 月 6 日 (月・振) の 10 連休です。人々は、どのように 10 連休を過ごすのでしょうか。旅行動向アンケートで、休暇の取り方や、連休の過ごし方などについて聞きました。

(1) 旅行意向は昨年より 1.1 ポイント増加。複数回の旅行に行く人は 51.2%

期間中に帰省を含めて旅行に「行く(12.1%)」、「たぶん行く (14.2%)」と回答した人の合計は、26.3% となり、昨年より 1.1 ポイント増加しました(表 3)。旅行に行く回数については、「国内旅行 1 回(45.2%)」が最多ですが、「国内旅行 3 回以上」が 29.8%、「国内・海外旅行の両方」も 4.5% ありました(図 3)。一方、旅行に行かない理由では「GW は混雑する」「GW は旅行費用が高い」「家でのおんびりしたい」が多く、この傾向は例年と変わりありませんでした(図 4)。

(2) GW の休暇の予定は、「自分自身は 10 連休以上」が 31.5%

10 連休の休暇がある人はどのくらいいるのでしょうか。自分の休暇と家族の休暇について聞いてみたところ、「自分も家族も 10 連休以上」は、21.7%、「自分は 10 連休以上だが家族は 10 連休未満」は、9.8% で、自分自身が 10 連休以上の休暇がある人は、合計で 31.5% でした(図 5)。

(3) 昨年と今年の GW の違いは、「昨年より収入が増えた」、「昨年より遠距離の旅行に行く」

旅行に「行く」「たぶん行く」と回答した人に、「昨年と今年の GW の違い」を聞いたところ、「収入」については、「昨年より収入が増えた(18.1%)」が「昨年より収入が減った(16.3%)」より多くなりました。「旅行先」に関しては、「昨年より遠距離の旅行に行く」は、14.5%、「昨年より近距離の旅行に行く」は、7.1% です。また、「旅行日数を増やす」は 15.2%、「旅行日数を減らす」は、3.7% でした。はじめての GW10 連休に関わる質問については、「今年は 10 連休なので旅行に行く」は 8.3%。「10 連休なのでいつもより早く(2018 年中)に申込みをした」が 3.2%、「10 連休なのでいつもより早く(2019 年 1 月~)に申込みをした」は 3.8% と例年よりも早く申し込みをした人は合計 7.0% でした。そのほか「10 月に消費税が上がるので GW に旅行に行っておこうと思う」2.2%、「10 連休なのでクルーズ旅行に行こうと思う」0.6% などの回答もみられました(表 4)。

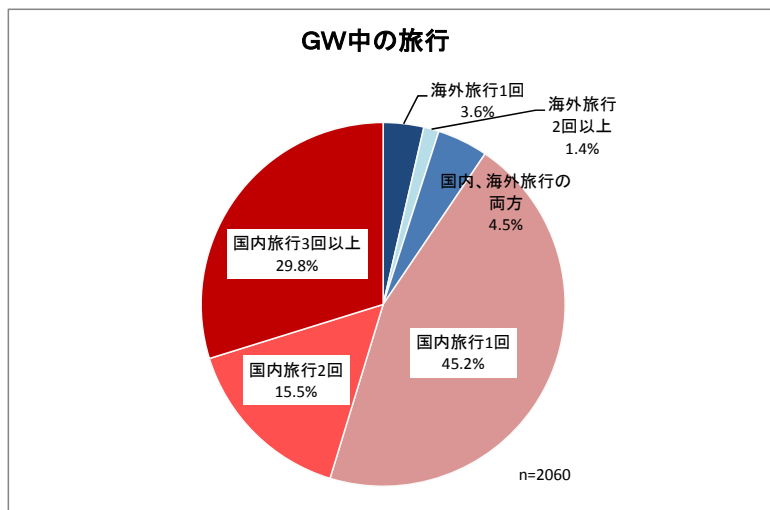
(4) 改元の日前後の過ごし方では、「神社やお寺にお参りをする」が 27.5%

今年のGW10連休は皇位継承に伴うもので、GW 期間中に平成最後の日となる 4月30日、改元の日
の 5月1日があります。改元にちなんだ旅行やお出かけをすると答えた人にどのような内容か聞いたところ、「お参りをする (27.5%)」、「改元を記念したツアーに参加する (20.3%)」などが上位になりました (図 6)。

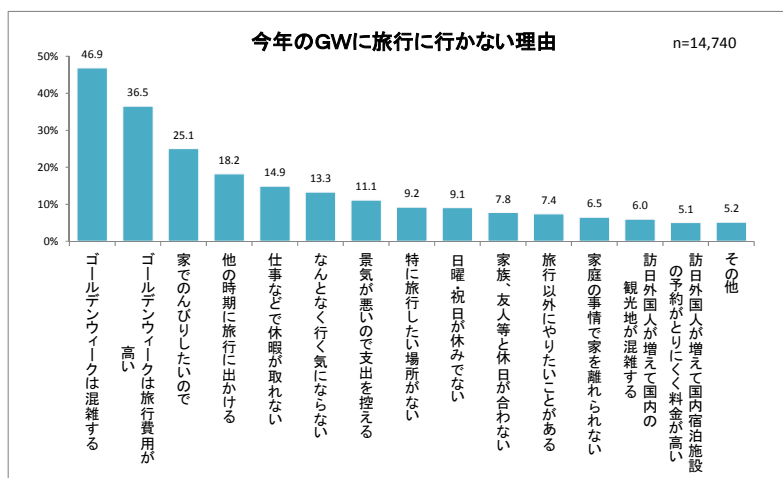
(表 3) 旅行意向 (単位: %) (単一回答)

	2019年 n=20000	2018年 n=30000	前年増減
行く	26.3	25.2	+1.1
行く	12.1	10.7	+1.4
たぶん行く	14.2	14.5	▲0.3
行かない	73.7	74.9	▲1.2
たぶん行かない	32.7	34.3	▲1.6
行かない	41.0	40.6	+0.4

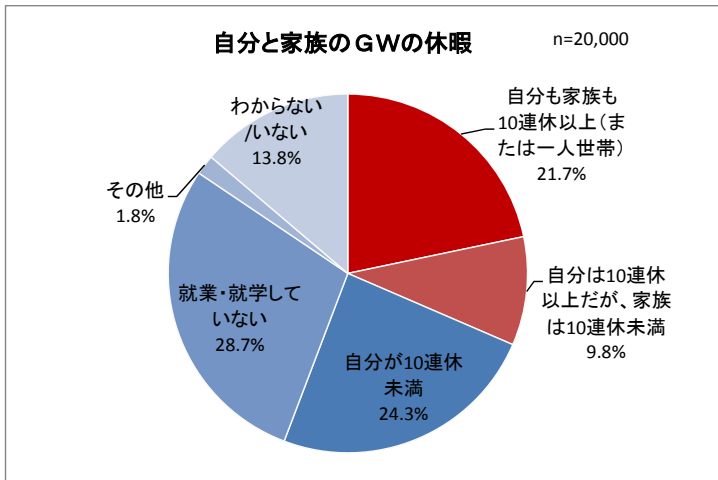
(図 3) GW中の旅行 (単一回答)



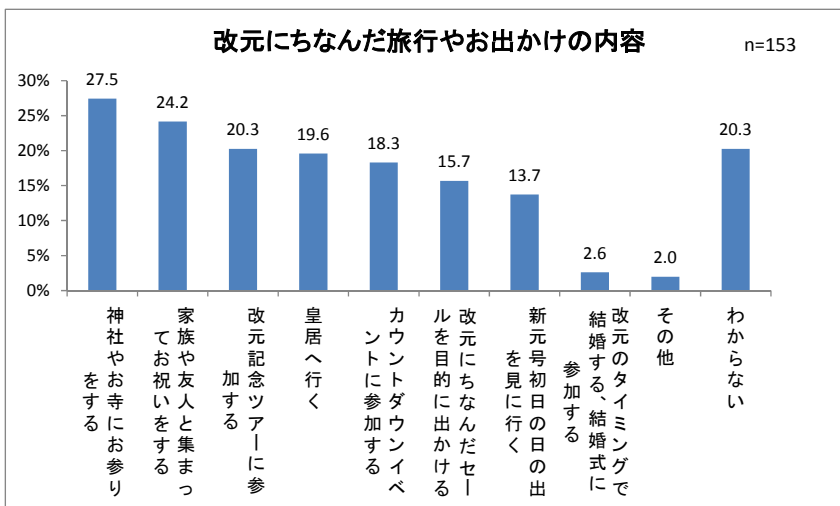
(図 4) 今年のGWに旅行に行かない理由 (複数回答)



(図5) 自分と家族のGWの休暇 (単一回答)



(図6) 「改元にちなんだ旅行やお出かけをする」と回答した人のお出かけの内容 (複数回答)



(表4) 昨年と今年のGWの違い (旅行意向あり) (複数回答) n=2,060

	%	対前年比
昨年より長く休みが取れそうだ	38.6	+ 20.9
昨年より休みが取れそうにない	4.3	▲ 2.9
昨年より収入が増えた	18.1	+ 0.1
昨年より収入が減った	16.3	+ 0.6
昨年より遠距離の旅行に行く	14.5	+ 5.0
昨年より近距離の旅行に行く	7.1	▲ 1.0
昨年より旅行日数を増やす	15.2	+ 8.5
昨年より旅行日数を減らす	3.7	▲ 3.0
特に違いはない	22.5	+ 1.9

*2019年だけの質問

	%
昨年は旅行に行かなかったが今年は10連休なので旅行に行く	8.3
昨年は旅行に行かなかったが、今年は10月に消費税が上がるので、GWに旅行に行っておこうと思う	2.2
いつもGWに旅行に行っているが10連休なのでいつもより早く(2018年中)に申し込みをした	3.2
いつもGWに旅行に行っているが10連休なのでいつもより早く(2019年1月~)に申し込みをした	3.8
今年は10連休なのでクルーズ旅行に行く	0.6

<2019年GW旅行動向予測>

1. 海外旅行人数は、66.2万人(前年比+6.9%)

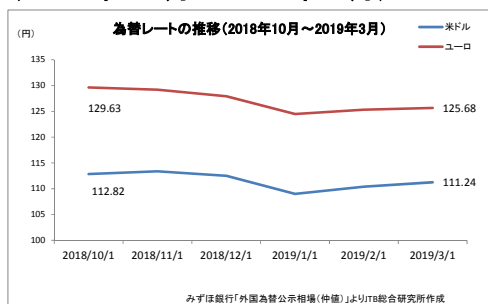
一人あたりの旅行平均費用は、268,000円(前年比+1.5%)、出発日のピークは4月27日(土)と予測

日本人の出国者数は2018年に1,895万人と過去最高を記録し、2019年に入ってから、1月、2月は前年を上回って推移しています。燃油サーチャージは昨年と比較して低くなり、為替相場はGWの海外旅行申込時期にあたる昨年の秋から年明けにかけて緩やかに円高に推移し、旅行意欲を押し上げる要因にもなっていると考えられます。(表5、表6)。

アンケートによると、「旅行日数」は、「3泊4日(17.6%)」、「4泊5日(17.6%)」が同率で多く、5泊6日以上はすべて前年より増加しています。長い休みを利用した中長距離旅行が増えそうです(表8)。「旅行先」では、「ハワイ」の人気は根強く、地域で見ると「東南アジア」、「ヨーロッパ」が人気です(表10)。

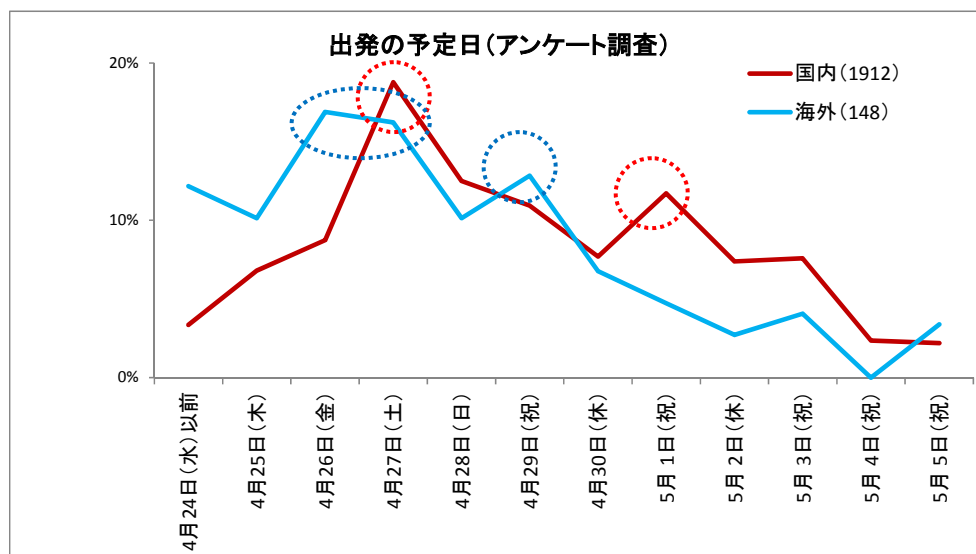
「同行者」は、「家族連れ(56.8%)」が最も多く、中でも「夫婦のみ(23.6%)」は減少し、「子供連れ(中学生まで)(16.2%)」が増加しています(表11)。「一人当たりの予定費用」は、「20万円～30万円未満」が18.2%と最多ですが、「30万円～40万円未満(14.9%)」は前年より9.4ポイント増加しています(表14)。「出発予定日」はアンケートでは、4月26日(金)、4月27日(土)が多く、4月中の出発が多くなっています(図7)。出発日のピークは、航空会社の予約状況や、業界動向などから総合的に判断し、4月27日(土)と予測します。

(表5) 為替レート(対ドル、対ユーロ)の推移 (表6) 日本航空日本発方面別燃油サーチャージ
(2018年10月～2019年3月) (片道)(単位:円)



	2019年 4月	前年との差額	2018年	2017年	2016年	2015年
			4月	4月	4月	4月
韓国	300	-200	500	300	0	500
中国	1,500	-1,000	2,500	1,500	0	2,500
香港・台湾	1,500	-1,000	2,500	1,500	0	2,500
グアム、フィリピン・ベトナム	2,000	-1,000	3,000	2,000	0	3,000
タイ・マレーシア・シンガポール	3,000	-1,500	4,500	3,000	0	4,500
ハワイ・インドネシア・インド	4,000	-2,000	6,000	4,000	0	6,000
オセアニア・北米・ヨーロッパ	7,000	-3,500	10,500	7,000	0	10,500

(図7) 出発の予定日(アンケート調査) (単一回答)

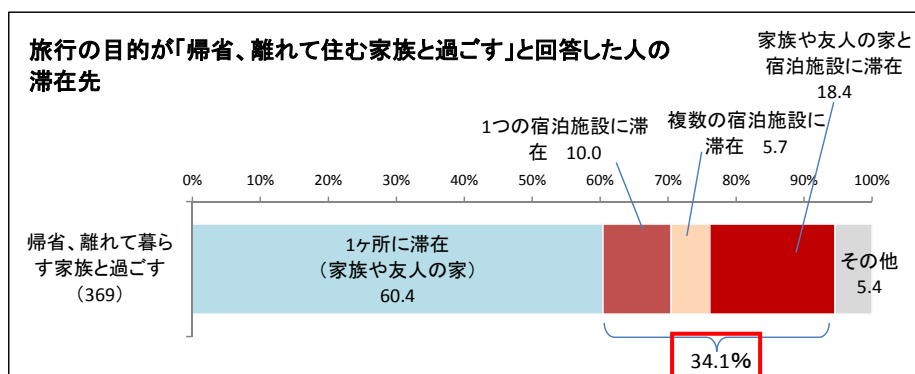


JTBの海外パッケージツアー「ルック JTB」の予約状況を見ると、出発日のピークは、韓国や台湾などの近距離のアジアは、4月27日(土)～5月2日(休)の間に分散しており、ハワイ、グアムなどは、4月28日(日)、米国本土や欧州などの遠距離は4月27日(土)、28日(日)がピークになっています。人気の行き先は、ファミリーに人気のハワイ、グアム、近距離のアジアでは、台湾、ベトナムなど、遠距離では、イタリア、オーストラリアなどとなっています。予約の総合ランキングでは1位ハワイ、2位グアム、3位台湾は昨年同様ですが、4位オーストラリア、5位韓国などは今年ならではの傾向となっています。昨年10月に観光ビザが1年間免除となったミャンマーも今年予約が増加している旅行先の一つです。

2. 国内旅行人数は2,401万人(前年比+1.1%)、国内旅行平均費用は36,800円(前年比+1.7%)。

今年のGWの国内旅行は、帰省やのんびりリラックスする旅など長めの家族旅行が多くなりそうです。アンケートによると、「旅行日数」は、「1泊2日(36.9%)」が最多ですが、「3泊4日(16.1%)」「5泊6日(3.5%)」はそれぞれ前年より1.2ポイント増加しています(表8)。「旅行の目的」は、「帰省、離れて暮らす家族と過ごす(19.0%)」が最多で、前年からは1.4ポイント増加しています。(表9)。「同行者」は、「家族連れ(66.6%)」、中でも「子供連れ(中学生まで)(28.8%)」が前年より4.6ポイント増加し、子供連れの家族旅行が多くなりそうです(表11)。「利用交通機関」は、「乗用車(63.6%)」が多く(表12)、「利用宿泊施設」は、「ホテル」が53.3%です(表13)。旅行の目的で「帰省、離れて暮らす家族と過ごす(19.0%)」と回答した人のうち、約3割は宿泊施設も利用すると回答しています。帰省であっても実家以外のホテルや旅館などを利用し周辺観光をする人も多そうです(図8)。「出発予定日」は4月27日(土)、5月1日(祝)が多く、複数回の旅行を検討される人も多いことからピークは2回となっています(図7)。

(図8) 旅行の目的が「帰省、離れて暮らす家族と過ごす」と回答した人の滞在先



JTBの国内パッケージツアー「エース JTB」の予約状況を見ると、出発日は、4月28日(日)～30日(休)と4月中が多く、行先は、北海道や沖縄などの遠距離が人気となっています。また、皇位継承に関連して、伊勢・志摩を訪れるツアーや、赤ちゃんパンダ公開から人気が続く南紀、4月26日(金)から開催される「瀬戸内国際芸術祭2019」にも注目が集まっています。首都圏発の予約伸び率では、1位北海道、2位USJ、3位(伊勢・北陸を含む)中部、4位沖縄、5位京都となっています。

<旅行動向アンケート調査方法>

調査実施期間：2019年3月20日～22日

調査対象：全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数：事前調査 20,000名、本調査 2,060名

事前調査20,000名で「GWに旅行に行く」と回答した人の中から2,060名を抽出し本調査を実施

調査内容：2019年4月25日から5月5日に実施する1泊以上の旅行
(海外旅行を含み、商用、業務等の出張旅行は除く)

調査方法：インターネットアンケート調査

*今回より、これまでの「調査員による質問用紙を使った個別訪問調査」から「インターネットアンケート調査」に調査方法を変更しています。2018年のGWの市場調査より両調査を並行して実施し、前年比は昨年インターネットアンケート調査との比較です。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB 広報室 03-5796-5833

(表 7) 2019 年GW(4/25~5/5 出発)の海外旅行人数推計

(単位:千人)

	2019年推計	対前年比	2018年実績推計	対前年比
総数	662	+6.9%	619	+6.5%
アジア合計	418	+7.5%	389	+7.5%
韓国	108	+8.0%	100	+8.7%
中国	94	+8.0%	87	+6.1%
香港	31	+10.7%	28	+12.0%
台湾	55	+3.8%	53	+3.9%
タイ	47	+9.3%	43	+7.5%
シンガポール	19	+11.8%	17	+13.3%
インドネシア	17	+6.3%	16	+6.7%
マレーシア	10	±0.0%	10	±0.0%
その他	37	+5.7%	35	+9.4%
北米州合計	150	+2.7%	146	+1.4%
ハワイ	66	+4.8%	63	+3.3%
グアム・サイパン	24	±0.0%	24	▲4.0%
米国本土	51	+2.0%	50	+2.0%
カナダ	9	±0.0%	9	±0.0%
欧州合計	59	+13.5%	52	+15.6%
大洋州合計	21	+5.0%	20	+5.3%
オーストラリア	15	+7.1%	14	+7.7%
ニュージーランド	4	±0.0%	4	±0.0%
南太平洋	2	±0.0%	2	±0.0%
その他 (アフリカ・中近東・中南米)	14	+16.7%	12	+9.1%

(表 8) 旅行日数

(単一回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
1泊2日	36.9	▲ 3.0	1.4	▲ 1.7
2泊3日	33.1	▲ 1.2	10.1	▲ 5.1
3泊4日	16.1	+ 1.2	17.6	▲ 2.6
4泊5日	4.7	▲ 0.2	17.6	▲ 0.7
5泊6日	3.5	+ 1.2	16.2	+ 4.6
6泊7日	1.4	+ 0.2	8.8	+ 2.7
7泊8日	1.7	+ 0.8	10.8	+ 1.7
8泊以上	2.7	+ 1.0	17.6	+ 1.1

(表 9) 旅行目的(上位 10 位)

(単一回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
① 帰省、離れて暮らす家族と過ごす	19.0	+ 1.4	① リラックスする、のんびりする	20.3 + 0.1
② リラックスする、のんびりする	12.7	+ 1.2	② 自然や風景を楽しむ	16.9 + 4.1
③ 温泉を楽しむ	11.7	+ 0.4	③ 名所や史跡などを見る	15.5 ▲ 0.9
④ 家族と楽しく過ごす	9.7	+ 0.9	④ 街歩きやショッピング	10.8 + 1.1
⑤ 自然や風景を楽しむ	9.4	▲ 2.2	⑤ 家族と楽しく過ごす	9.5 + 0.3
⑥ テーマパークやレジャー施設	7.8	+ 0.9	⑥ 恋人・友人と楽しく過ごす	6.8 + 3.7
⑦ 食事を楽しむ、地域の味覚を味わう	7.0	▲ 2.6	⑦ 食事を楽しむ、地域の味覚を味わう	5.4 ▲ 6.2
⑧ 名所や史跡などを見る	6.7	±0.0	⑧ 帰省、離れて暮らす家族と過ごす	4.1 + 1.0
⑨ 恋人・友人と楽しく過ごす	4.5	▲ 0.4	⑨ テーマパークやレジャー施設	3.4 ▲ 0.3
⑩ イベント・祭り・観劇・観戦など	4.2	▲ 0.1	⑩ イベント・祭り・観劇・観戦など	2.0 ▲ 1.0

(表 10) 旅行先

(単一回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
北海道	7.1	▲ 1.5	韓国	6.8 ▲ 4.2
東北	8.2	▲ 0.8	台湾	8.8 ▲ 0.4
関東	20.7	▲ 1.0	香港・マカオ	7.4 + 0.7
甲信越	8.6	+ 0.4	中国本土	4.7 + 1.1
東海	11.0	+ 0.1	グアム・サイパン	3.4 ▲ 0.3
北陸	4.6	▲ 0.2	ハワイ	12.8 + 1.9
近畿	14.3	+ 0.9	東南アジア(タイ、シンガポールなど)	19.6 + 3.7
中国・四国	12.9	+ 2.0	オーストラリア・ニュージーランド	4.7 + 0.5
九州	10.5	+ 0.4	米国本土、カナダ	8.1 ▲ 2.9
沖縄	2.1	▲ 0.3	ヨーロッパ	15.5 ▲ 2.1
			その他海外	8.1 + 2.0

*複数の地域が旅行先となる場合は最遠地で回答。

(表 11) 同行者

(単一回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
家族連れ	66.6	+ 3.1	56.8	+ 0.7
子供連れ(中学生まで)	28.8	+ 4.6	16.2	+ 3.4
夫婦のみ	20.1	▲ 3.4	23.6	▲ 9.3
その他(三世代・母娘を含む)	17.7	+ 2.0	16.9	+ 6.5
友人・知人	15.4	▲ 3.9	20.9	+ 0.2
恋人・パートナーと2人で	7.6	▲ 1.7	10.8	+ 4.7
友人と2～3人で	7.8	▲ 2.2	10.1	▲ 4.5
グループ・団体	2.9	+ 0.4	0.7	▲ 2.4
ひとり	14.3	+ 0.5	20.3	+ 1.4
その他	0.8	▲ 0.1	1.4	+ 0.1

(表 12) 利用交通機関

(複数回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
乗用車	63.6	+ 3.5	4.4	▲ 4.3
鉄道	39.0	▲ 0.3	-	-
JR新幹線	19.8	▲ 2.6	-	-
JR在来線・私鉄	19.2	+ 2.3	-	-
長距離バス	6.6	+ 0.1	4.4	+ 1.7
航空機	13.7	▲ 0.9	100.0	▲ 0.7
従来の航空会社	11.3	+ 0.2	83.8	+ 4.5
LCC	2.4	▲ 1.1	16.2	▲ 5.2
フェリー・船舶	2.1	+ 0.5	5.9	+ 1.2
その他	1.3	▲ 0.4	0.7	▲ 0.6

(表 13) 利用宿泊施設

(複数回答)

	国内	海外
	%	%
旅館	21.9	-
ホテル	53.3	91.2
実家・知人宅	29.0	7.4
民泊	1.7	3.4
民宿・ペンション	5.2	-
その他	4.6	5.4

* 国内は選択肢を変更、海外は2019年のみ
のため、対前年はありません。

(表 14) 今年の GW の予定費用(一人当たり)

(単一回答)

	国内		海外	
	%	対前年	%	対前年
1万円未満	10.9	+ 0.5	0.0	±0.0
1万円～2万円未満	20.9	▲ 1.0	0.7	+ 0.7
2万円～3万円未満	20.2	▲ 1.0	2.7	+ 0.3
3万円～4万円未満	13.1	+ 0.1	2.7	▲ 4.6
4万円～5万円未満	11.9	+ 0.1	2.7	▲ 0.3
5万円～6万円未満	7.6	+ 0.3	4.7	▲ 0.8
6万円～10万円未満	9.5	+ 0.9	12.8	+ 0.6
10万円～15万円未満	3.6	±0.0	15.5	+ 0.9
15万円～20万円未満	1.7	+ 0.2	12.8	±0.0
20万円～30万円未満	0.5	±0.0	18.2	▲ 1.3
30万円～40万円未満	0.0	▲ 0.1	14.9	+ 9.4
40万円以上	0.2	±0.0	12.2	▲ 4.9

(表 15) 今後 1 年間の旅行支出に対する意向 * 表 2 再掲

(単一回答) () は前年差

	2019年3月
支出をふやしたい	16.1 (+1.5)
支出は同程度	49.6 (▲3.5)
単価減らし回数増やす	8.4 (+0.3)
単価増やし回数減らす	6.4 (▲0.7)
単価も回数も同程度	34.8 (▲3.1)
支出を減らしたい	34.3 (+2.1)

* (表 8～11、14) は無回答があるため合計 100%にはなりません。

(表 16) 「ゴールデンウィークの旅行動向」推計数値(2000年～)の推移

	旅行人数(万人)			旅行平均費用(円)		総消費額(億円)		
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	総数	国内	海外
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2000年 (4/27～5/7)	2,150.4 +4.2%	2,094.0 +4.1%	56.4 +6.0%	40,433 ▲0.5%	228,558 +7.1%	9,756 +4.8%	8,467 +3.6%	1,289 +13.6%
2001年 (4/26～5/6)	2,206.5 +2.6%	2,152.6 +2.8%	53.9 ▲4.4%	41,767 +3.3%	239,072 +4.6%	10,280 +5.4%	8,991 +6.2%	1,289 ±0.0%
2002年 (4/25～5/5)	2,169.3 ▲1.7%	2,120.3 ▲1.5%	49.0 ▲9.1%	39,595 ▲5.2%	246,005 +2.9%	9,600 ▲6.6%	8,395 ▲6.6%	1,205 ▲6.5%
2003年 (4/24～5/4)	2,090.7 ▲3.6%	2,067.3 ▲2.5%	23.4 ▲52.2%	38,983 ▲1.5%	254,369 +3.4%	8,654 ▲9.9%	8,059 ▲4.0%	595 ▲50.6%
2004年 (4/24～5/4)	2,169.8 +3.8%	2,116.9 +2.4%	52.9 +126.1%	39,334 +0.9%	245,720 ▲3.4%	9,627 +11.2%	8,327 +3.3%	1,300 +118.5%
2005年 (4/27～5/7)	2,175.5 +0.3%	2,121.1 +0.2%	54.4 +2.8%	38,890 ▲1.1%	253,180 +3.0%	9,626 ±0.0%	8,249 ▲0.9%	1,377 +5.9%
2006年 (4/26～5/6)	2,201.6 +1.2%	2,146.6 +1.2%	55.0 +1.1%	38,993 +0.3%	250,584 ▲1.0%	9,748 +1.3%	8,370 +1.5%	1,378 +0.1%
2007年 (4/25～5/5)	2,202.3 ±0.0%	2,148.7 +0.1%	53.6 ▲2.5%	39,100 +0.3%	251,700 +0.4%	9,750 ±0.0%	8,401 +0.4%	1,349 ▲2.1%
2008年 (4/25～5/5)	2,125.4 ▲3.5%	2,080.0 ▲3.2%	45.4 ▲15.3%	39,100 ±0.0%	254,700 +1.2%	9,289 ▲4.7%	8,133 ▲3.2%	1,156 ▲14.3%
2009年 (4/25～5/5)	2,178.6 +2.5%	2,129.9 +2.4%	48.7 +7.3%	36,900 ▲5.6%	213,100 ▲16.3%	8,897 ▲4.2%	7,859 ▲3.4%	1,038 ▲10.2%
2010年 (4/24～5/4)	2,220.9 +1.9%	2,169.2 +1.8%	51.7 +6.2%	36,100 ▲2.2%	224,400 +5.3%	8,991 +1.1%	7,831 ▲0.4%	1,160 +11.8%
2011年 (4/24～5/4)	2,035.0 ▲8.4%	1,981.3 ▲8.7%	53.7 +3.9%	33,800 ▲6.4%	209,600 ▲6.6%	7,823 ▲13.0%	6,697 ▲14.5%	1,126 ▲2.9%
2012年 (4/25～5/5)	2,260.8 +11.1%	2,201.2 +11.1%	59.6 +11.0%	34,900 +3.3%	210,000 +0.2%	8,934 +14.2%	7,682 +14.7%	1,252 +11.2%
2013年 (4/25～5/5)	2,331.7 +3.1%	2,278.2 +3.5%	53.5 ▲10.2%	35,900 +2.9%	230,800 +9.9%	9,414 +5.4%	8,179 +6.5%	1,235 ▲1.4%
2014年 (4/25～5/5)	2,318.3 ▲0.6%	2,267.9 ▲0.5%	50.4 ▲5.8%	34,400 ▲4.2%	249,500 +8.1%	9,060 ▲3.8%	7,802 ▲4.6%	1,258 +1.9%
2015年 (4/25～5/5)	2,389.0 +3.0%	2,335.9 +3.0%	53.1 +5.4%	35,800 +4.1%	263,000 +5.4%	9,683 +6.9%	8,363 +7.2%	1,320 +4.9%
2016年 (4/25～5/5)	2,400.0 +0.5%	2,341.0 +0.2%	58.8 +10.7%	35,200 ▲1.7%	259,000 ▲1.5%	9,763 +0.8%	8,240 ▲1.5%	1,523 +15.4%
2017年 (4/25～5/5)	2,418.0 +0.8%	2,360.0 +0.8%	58.1 ▲1.2%	35,600 +1.1%	257,000 ▲0.8%	9,895 +1.4%	8,402 +2.0%	1,493 ▲2.0%
2018年 (4/25～5/5)	2,437.0 +0.8%	2,375.0 +0.6%	61.9 +6.5%	36,200 +1.7%	264,000 +2.7%	10,232 +3.4%	8,598 +2.3%	1,634 +9.4%
2019年 (4/25～5/5)	2,467.0 +1.2%	2,401.0 +1.1%	66.2 +6.9%	36,800 +1.7%	268,000 +1.5%	10,610 +3.7%	8,836 +2.8%	1,774 +8.6%

* 調査開始は1969年。海外旅行人数は実績値。

* 平均費用については、1993年より推計。2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。

* 国内旅行人数は推計値で、2003年以前は動向結果により前年の発表数値から一部修正。

*** 2019年より市場調査をインターネットアンケート調査に変更。**